

# 病院のお仕事いろいろ

## 安全・安心な環境を提供

ゼネラルリスクマネージャー (GRM)

石山 由紀子 (いしやま ゆきこ) 副看護部長



ゼネラルリスクマネージャー (GRM) という職種を聞いたことはありますか。安全管理部で患者さんや職員など病院に関わる全ての人の安全を守るために活動をしています。主な仕事は、医療事故防止のために院内のさまざまな部署から報告されるインシデント内容について原因分析し、対策を考えます。また、医療安全研修会の実施、医療安全に関するニュースレターを発行しています。インシデントとは、患者さんの診療及びケアにおいて、患者さんへの影響や過失の有無に関わらず、あるべき姿からはずれた事態のことを言います。本院は、小さなインシデントが起こった場合でも随時報告し、常に医療安全について意識を持つよう指導しています。そして石山GRMがこのインシデント事例を集計し、対策を立てることで、医療ミスや医療事故の発生の防止、潜在するインシデントの発見に役立てられます。また、原因分析するために、石山GRMはほぼ毎日現場に出向き、提出されたインシデント報告書を基



分析資料を作成している様子

に関係者に確認し、必要時は関係部署と調整し対応することがあるそうです。

さまざまな医療安全に関する問題を解決に導くGRMは、問題解決能力をはじめ、組織横断的に活動するための交渉力やコミュニケーション能力などの管理能力が必要とされます。そこで石山GRMは関係者に十分話を聞くようにしたり、これまでの看護としての知識だけでなく幅広い視点から医療について勉強したりと努力しています。日々心がけていることは「インシデントが起きた場合でも個人を決して責めないこと」インシデントが起きた背景をしっかりと調査することで隠れた原因を発見することができ、今後の防止策に繋がるそうです。最後に、石山GRMは安全に患者さんが治療を受けられるように、また職員が安心して働けるような環境を作っていきたい。と今後の意気込みを語ってくれました。

